

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日  
平成 31 年 4 月 16 日

事務事業名		乳幼児健康診査事業				事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続 単独/補助		事務事業No. 010203000333	
総合計画の施策名		0102 健康づくりの推進				単独		040401	
政策名		01 子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり				主要事業		所属課 健康推進課	
施策名		02 健康づくりの推進				市長マニフェスト			
手段名		03 ③母子支援体制の充実				未来PJ事業		グループ 母子	
		③母子支援体制の充実				合併建設計画事業			
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	一般会計		単年度繰返し (年度~)	
	01	04	01	01	03	母子衛生事業		← 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	
法令根拠						母子保健法			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>①1歳児健康診査、1歳6か月児健康診査、2歳児歯科健康診査、3歳児健康診査を市の集団健診として実施している。歯科指導については2歳児歯科健診時に健康教室を、1歳6か月、2歳、3歳児健診時にブラッシング指導、フッ素塗布を実施。子育て相談は、1歳6か月、2歳、3歳児健診で実施。</p> <p>②岩瀬福祉センター・真壁保健センターの2会場。H31年度より、1歳児は岩瀬の1会場。</p> <p>③対象児の保護者に個別通知をしている。その他、健康カレンダー・広報・ホームページにも記載している。</p> <p>④健診結果により保護者に適切な指導・助言を行う。</p> <p>⑤保護者にその後の経過について確認を行う。(事後フォロー)</p>	<p>事業内容の企画検討</p> <p>医師、歯科医師、看護師、歯科衛生士、精神保健福祉士への依頼</p> <p>対象者の選定及び個別通知</p> <p>事前準備 (会場準備など)</p> <p>当日の運営</p> <p>要観察・要精密者へのフォロー</p> <p>未受診者への対応</p> <p>台帳管理</p> <p>実績報告書作成</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移								
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (計画)	02年度 (目標)	03年度 (目標)	
事業内容の企画 各関係者への依頼 対象者の選定および個別通知 当日の運営 健診結果により、必要な児へのフォロー 未受診者への対応 台帳管理 実績報告書作成	1歳児健診受診率	%	99.00	94.10	96.00	99.00	99.00	
	1歳6か月児健診受診率	%	96.40	96.80	97.00	97.00	97.00	
	3歳児健診受診率	%	93.60	90.90	94.00	94.00	94.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (計画)	02年度 (目標)	03年度 (目標)	
1歳児：おおむね生後11か月～12か月 1歳6か月児：満1歳6か月～2歳未満 2歳児：満2歳～3歳未満 3歳児：満3歳～4歳未満	1歳6か月児健診対象者数	人	225.00	221.00	210.00	200.00	190.00	
	3歳児健診対象者数	人	264.00	243.00	240.00	220.00	210.00	
	1歳児・2歳児歯科健診対象者数	人	479.00	447.00	440.00	420.00	400.00	
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (計画)	02年度 (目標)	03年度 (目標)	
児の疾病の早期発見、早期治療、早期療育ができる。 乳歯の手入れとブラッシング指導、フッ素塗布を実施し、むし歯予防をする。	精密者数 (1歳6か月児・3歳児)	人	15.00	7.00	15.00	15.00	15.00	
	各健診時のブラッシング指導者・フッ素塗布率	%	95.30	87.90	96.00	96.00	96.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

(3) 投入量 (事業費) の推移								
投入量	事業費内訳	国庫支出金	千円	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (計画)	期間限定総投入量	
		県支出金	千円	0	0	0		0
		地方債	千円	0	0	0		0
		使用料・手数料	千円	0	0	0		0
		その他	千円	0	0	0		0
		一般財源	千円	2,411	2,299	2,500		0
		事業費計 (A)	千円	2,411	2,299	2,500		0
		正規職員従事人数	人	10.00人	10.00人	10.00人		

30年度事業費 実績 (千円)			01年度事業費 予算 (千円)		
01 報酬	1,469		01 報酬	1,595	
09 旅費	20		11 需用費	92	
11 需用費	57		12 役務費	3	
12 役務費	3		13 委託料	810	
13 委託料	750				
合計		2,299	合計		2,500

(4) 当該年度の実施内容			
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する  ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業	01年度の事業内容		02年度の事業内容
	03年度の事業内容		

事務事業名	乳幼児健康診査事業	事務事業No.	10203000333	所属課	健康推進課
-------	-----------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	昭和40年母子保健法の施行に基づき県が1・6歳児健診、3歳児健診を実施。その後1・6歳児健診は昭和52年より、3歳児健診は平成7年より、県から市町村に移譲され現在に至っている。1歳児健診、2歳児歯科健診は母子保健法第13条を受け、幼児の発達の節目の時期なので健診を実施している。むし歯予防のため1・6歳児、2歳児、3歳児の希望者にフッ素塗布を行っている。
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？	各節目ごとに健診の機会があるということは、住民によりよい保健サービスを提供できるという事なので、受診率も高く保たれている。また、フッ素の実施は住民から好評である。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	改革改善を行う

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	発達、育児の早期発見をして、早期治療や早期療育につなげ、子育て支援や育児不安の軽減を図り、次世代を担う子どもが健やかに育つ体制づくりに結びついている。また、統合計画で掲げる「健康づくりの推進」にも結びつく事業である。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	母子保健法に基づき実施している事業である。成長発達の著しい時期の乳幼児の健康状態を確認することで、保護者が安心して育児をすることができる。また健康診査時に様々な専門職種が関わることで、きめ細やかな対応ができる。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	健診結果において、要精密や経過観察を要する児、継続したサポートを必要とする児も増えている。また、未受診者への電話や訪問等で受診勧奨していく。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	幼児期に専門医の健診が受けられないと疾病の早期発見・早期療育ができなくなる可能性が考えられる。また、保護者の育児不安や健診費用の負担が増える。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	医療機関に委託することも出来るが、経費がかかる。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	医師や心理相談員、歯科衛生士等の専門職種の確保は健康診査の精度を高め、維持するためにも必要である。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	各健診の対象者全員に周知している。受診者には必ずブラッシング指導・フッ素塗布の希望を確認し勧奨している。また未受診者や当日フッ素塗布が出来ない場合は、次回受けられるように配慮している。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括（振り返り、反省点）																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	健診によっては受診率が低下しているものがあるため、健診未受診者には通知、電話、訪問等で受診勧奨をしていく。 2歳児歯科健診にも毎回子育て相談の機会を設けたことで、子育て相談の機会を増やし、育児不安やことばの遅れなどで療育支援するきっかけとなっている。																							
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下			×																				
健診未受診者には、電話や訪問などで受診勧奨をしていく	(6) 事務事業優先度評価結果																							
	成果優先度評価結果 ② コスト削減優先度評価結果																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>